

まち  
ニライの都市をめざす



# 議会だより



第35回北谷町民運動会

笑顔でゴール!

平成25年度 一般会計決算 ..... P2

平成25年度 特別会計・水道事業会計決算 ..... P5

平成26年度 補正予算 ..... P6

抗議決議・意見書・陳情 ..... P8～P9

一般質問 **15人が登壇** ..... P10～P24



# 決算審査・質疑応答

**質疑応答**

**問** 平成25年度歳出決算額149億6千202万843円、執行率が91.9%、フィッシャーリーナ整備事業から桑江伊平の土地区画整理事業とあるが、繰越額も踏まえて、今後の事業への影響は。

**答** 平成25年度は、出来るところから実施し、実施状況については平成26年度に公表予定。

**問** 北谷町全体の収入未済額、平成24年度が22億円余り、今年度が8億8千万円、約13億1千万円減になっているが。

**答** 主な原因は繰越額が前年度と比較して約11億円減少。平成24年度の繰越額と平成25年度の繰越額では、それだけの差があったということ。収入未済額が13億円減となっている。

**問** 国有提供施設等所在市町村助成交付金が2億9千954万1千円、施設等所在市町村調整交付金5億3千852万4千円ということ。計上されているが、算定の根拠は。

**答** その性格は固定資産税の代替地のものとして交付されているもの。基地交付金につ

**監査委員審査**

きましては、国の詳細な算定というの示されていない、ある程度防衛のほうで基地の中にある固定資産税相当額が交付されていく。

○ 決算係数は正確であるか  
○ 予算執行はその目的に沿って適正且つ効果的か  
○ 財務に関する事務執行は関係法令に適合しているか  
○ 財産管理は適正か

等を主軸に決算書関係、諸帳簿、証憑書類等を照査すると共に関係者の説明を聴取、その適性について慎重に審査した。

**監査報告**

平成25年度一般会計歳入歳出決算の、実質収支に関する調書、財産に関する調書の係数は関係諸帳簿と照合した結果、係数は正確であり、予算執行収支事務処理財産管理も適正にされたものと認める。

**審査意見経常収支比率**

経営収支比率は83.1%で、対前年度比0.5ポイントの減。経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指数で、75%程度が妥当。本町は経営余剰財源が少なく、財政の硬直化が進んでいる状況。今後とも経営収支比率を圧縮することが肝要。

**公債費負担比率**

公債費負担比率は、財源構造の弾力性を判断する指標で、一般財源総額に占める割合を表す比率。通常は、15%が警戒ラインで、20%が危険ライン。公債費負担比率は、8.1%で、対前年度比0.5ポイントの減。引き続き健全な財政運営に努めることが望まれる。

**財源確保**

地方交付税の状況は、対前年度比11.1%の減。金額は1億8,752万8千円の減額。今後とも、東日本大震災からの復旧・復興への対策により、



減額が予想される。歳出面では、扶助費、維持補修費及び防災拠点整備事業・駐留軍用地の返還跡地利用推進事業などの経費増加が予想される。町の根幹財源である町税の収入未済額は、3億831万9千577円。収入未済額を圧縮し、滞納の抑制・解消を図ること、歳出面は、節減・合理化に努め経費抑制を図ることが財源の確保に努めることが重要な課題。

# 北谷町平成25年度一般会計決算 北谷町の家計簿は？



平成25年度北谷町一般会計は、歳入総額およそ159億2千600万円（前年比9.6%増）、歳出総額およそ149億6千200万円（前年比9.9%増）で歳入歳出差引残高およそ9億6千400万円。歳入決算額の主な特徴は、前年比で、町税については主に固定資産税の負担調整措置、及び供用開始した区画整理地の地目変更による増収。県支出金（沖縄振興交付金の増）213%の大幅増収となっている。

**歳入総額 159億2,647万8千468円**

**自主財源 78億2,347万674円** **依存財源 81億300万7千794円**

北谷町が自主的に収納できる財源で、財産収入町税（町民税、固定資産税、軽自動車税法人税など）  
国や県から割り当てられる補助金や交付金

**（構成比 49.1%）** **（構成比 50.9%）**

**歳出総額 149億6,202万843円**



**民生費 42億5,409万3千円** 老人福祉・児童福祉・障害福祉の運営

**教育費 23億4,956万5千円** 小中学校、幼稚園等教育環境整備運営

**土木費 20億7,267万4千円** 町道の維持管理、新設工事の支出など

**総務費 18億671万4千円** 人件費や庁舎管理運営など

**議会費 1億5,695万6千円** 町議会を運営するための経費

**公債費 7億8,324万円** 町政諸事業の借入金の返済金

**繰越明許費 3億4,157万3千円**

**実質収支額 6億2,288万4千円 (黒字)**



# 平成25年度 特別会計・水道事業会計決算

## 北谷町国民健康保険特別会計 認定

歳入総額 39億8,207万8千033円  
 歳出総額 38億4,509万5千598円  
 差引残高 1億3,698万2千435円

平成24年度の決算状況と比較すると  
 歳入、歳出ともに1.9%の増。

## 北谷町後期高齢者医療特別会計 認定

歳入総額 2億8,664万2千212円  
 歳出総額 2億8,266万6千818円  
 差引残高 397万5千394円

平成24年度の決算状況と比較すると  
 歳入は 1千768万4千997円(6.6%)増。  
 歳出は 1千633万3千736円(6.1%)増。

**Q** 徴収対策の在り方について  
**A** 徴収対策のあり方については、徴収対策緊急プランを作成し、滞納者に対しては、1ヶ月単位の短期証を交付している。また、長期滞納者に対しては、催告差し押え等も行なうものとしている。

**Q** 徴収率について  
**A** 徴収率については現年分は、前年と比較して0.26%の減だが滞納繰り越しも含めた徴収率は74.97%で、前年比0.59%増となっている。

**Q** 国民健康保険税収入済額の  
 前年比0.7%減になった理由  
**A** 収入済額の減は、被保険者数の減少により調定額が前年度より下がったため、

**委員会質疑**  
**Q** 「国民健康保険税収入済額の  
 前年比0.7%減になった理由  
 は  
**A** 収入済額の減は、被保険者数の減少により調定額が前年度より下がったため、

## 北谷町公共下水道事業特別会計 認定

歳入総額 8億9,200万3千360円  
 歳出総額 8億4,943万4千225円  
 差引残高 4,256万9千135円

## 北谷町水道事業会計 認定

収益的収入 8億5,483万8千906円  
 収益的支出 7億7,441万6千286円  
 資本的収入 1408万9千円  
 資本的支出 2億7,880万5千793円

**Q** 米軍使用料の割合について、  
 関係市町村の割合はどの  
 ようになっているか  
**A** キャンプ瑞慶覚については、北谷町が32.455%、北中城村40.975%、宜野湾市22.325%、沖縄市4.245%となっており、嘉手納基地については、北谷町27.81%、沖縄市45%、嘉手納町27.14%となっている

**Q** 使用料の徴収はどのよう  
 になっているのか  
**A** 水道料金と一緒に徴収をしている。

**委員会質疑**  
**Q** 消火栓の設置に基準はあ  
 るか  
**A** 消火栓の設置基準については、100メートルおきに設置し、消防や役場担当課と協議しながら全域に設置している。

**委員会質疑**  
**Q** 消火栓の設置に基準はあ  
 るか  
**A** 消火栓の設置基準については、100メートルおきに設置し、消防や役場担当課と協議しながら全域に設置している。

## 北谷町水道事業剰余金処分 可決

当年度未処分利益剰余金 6,949万1千469円

全額、建設改良積立金として積み立てられる。



# 平成25年度は 乙んな事をやりました

砂辺町営住宅  
完成



6億3,058万1千円

公立保育園整備事業  
上勢保育園



3億8,832万9千円

浜川小  
屋内運動場整備



4億4,617万2千円

北谷中耐震事業



6,531万円

北谷町  
観光情報センター



1億1,329万6千円

北谷町学校特別支援  
教育支援員派遣事業



2,816万9千円

## 伊礼原遺跡用地取得

7,235万2千円

## 町立博物館用地取得事業

4億5,253万8千円

## 防災拠点整備事業

4億3,648万6千円

(土地取得率100%  
アクセス道路概略設計)



# 請負契約・条例

可決

**平成26年度美浜18号線改良工事請負契約**

概要：防災景観工事を目的に当該路線の無電柱化を行う

1、契約金額 6,156万円

2、契約相手方 北谷町字上勢頭630番地6 有限会社 開成建設産業 代表取締役 池味 光輝

**浜川漁港西防波堤景観整備工事請負契約**

概要：漁港施設の一部である西防波堤の景観性向上を目的に自然石を用いた起伏及び植樹のための植栽施設の整備を行う

1、契約金額 1億1,458万8千円

2、契約の相手方 北谷町字玉上218番地 崎原土建株式会社 代表取締役 崎原 盛光

**町営砂辺住宅建替工事（建築C棟）請負契約**

概要：棟、B棟は平成24年度から25年度にかけて整備が完了しており、今回は棟21世帯の整備

1、契約金額 3億4,560万円

2、契約の相手方 旭建設㈱・㈱大蔵産業 建設工事共同企業体 旭建設㈱ 代表取締役社長 翁長 淳

代表取締役 古波蔵 清和

**北谷公園野球場スコアボード等改修工事請負契約**

概要：既存のスコアボードをフルスクリーンLED表示式スコアボードに改修する工事

1、契約金額 1億9,764万円

2、契約の相手方 北谷町字桃原15番地10 株式会社海邦 代表取締役 玉城 光子

**あらたに生じた土地の確認ならびに字の区域変更**

あらたに生じた土地は、浜川漁港とフィッシャリーナ地区を結ぶ連絡通路整備工事に伴う公有水面埋立地。

1. 土地の所在 埋立A区域 北谷町字港1番2の地先公有水面埋立地（字港へ編入）  
埋立B区域 北谷町字美浜57番、58番、59番の地先公有水面埋立地（字美浜へ編入）

2. 土地の面積 埋立A区域 52.85平方メートル  
埋立B区域 58.05平方メートル  
合計 110.90平方メートル

**条例**

北谷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

提案理由 児童福祉法の改正により、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める。

北谷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

提案理由 子ども・子育て支援法の制定に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める。

北谷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

提案理由 児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める。

北谷町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

提案理由 沖繩振興特別措置法との文言の整合性を図るため、北谷町固定資産税の課税免除の条例の一部を改正する

主な改正概要 「情報通信産業振興地域内」を「情報通信産業振興地域の区域内」に改める。

北谷町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

提案理由 子供の健全な教育を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の母子及び寡婦福祉法の改正により、題名及び条文に改正で、北谷町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例を改正する

主な改正概要 「母子及び寡婦福祉法」を「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改め、「法第6条第1項に準ずる」を「法第6条第2項に改正する」に改める。

# 平成26年度 補正予算

原案可決

**一般会計**

補正前の額 137億 1,861万 9千円

予算総額 12億 5,738万 1千円

補正額 149億 7,600万円

歳入予算：地方交付税の補正、国・県支出金等の補正、繰入金の補正、平成25年度決算に基づく繰越金の補正。

歳出予算：主に職員の人事異動に伴う人件費、特定駐留軍用地内土地取得事業に係る事業費等の補正、平成25年度決算に伴う財政調整基金積立金及びその他の積立金の補正。

**国民健康保険特別会計**

補正前の額 37億 5,753万 1千円

予算総額 2億 50万 7千円

補正額 39億 5,803万 8千円

歳入予算：国民健康保険税、療養給付費交付金、繰入金の補正。平成25年度決算に基づく繰越金の補正。

歳出予算：国民健康保険財政調整基金積立金の補正。平成25年度に超過交付に伴う財政調整基金積立金及びその他の積立金の補正。

**後期高齢者医療特別会計**

補正前の額 2億 9,471万 4千円

予算総額 355万 1千円

補正額 2億 9,826万 5千円

歳入予算：平成25年度決算確定による繰越金の増額補正。

歳出予算：平成25年度実績精算に伴う一般会計への繰出し。

**公共下水道事業特別会計**

補正前の額 7億 8,078万 2千円

予算総額 4,950万円

補正額 8億 3,028万 2千円

歳入予算：地方交付税の補正、国・県支出金等の補正、繰入金の補正、平成25年度決算に基づく繰越金の補正。

歳出予算：主に職員の人事異動に伴う人件費、特定駐留軍用地内土地取得事業に係る事業費等の補正、平成25年度決算に伴う財政調整基金積立金及びその他の積立金の補正。



# 抗議・意見書・陳情

**採択**  
「生涯現役社会の実現」に取り組みシルバー人材センターへの支援の要望の陳情

**採択**  
公共工事発注に際しての事業用自動車（緑ナンバー）使用に関する陳情

**採択**  
平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情

**採択**  
幼稚園教育の制度改善についての陳情

**採択**  
「生活保護基準引き下げ」中止を政府に強く求めるとともに、「附帯決議」の内容を周知徹底し、申請権・受給権を保障し、申請拒否、要、扶養強要などの「人権侵害」は行わないことを求める陳情

**可決**  
「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める」陳情及び意見書  
(趣旨) 手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。  
あて先 内閣総理大臣。

**可決**  
「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情及び意見書  
(趣旨) 幼稚園を含めた就学前教育は教育の基礎であり、次世代育成や沖縄県の将来のために幼稚園・保育園・学童保育も含めた制度改革が喫緊の課題になっている。是非、国・政府が提言している「5歳児義務教育化・無償化」を沖縄県においてモデル事業化して先行してすすめることを要請する。  
あて先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、沖縄及び北方対策担当大臣。

**可決**  
「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情及び「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充に関する意見書  
(要旨) 教育の機会均等と教育水準の維持向上のため、新たな負担転嫁を行うことなく、地方の財政力を高めるとともに、義務教育費国庫負担制度が引き続き堅持され、まずは以前の2分の1に復元するよう強く要請する。  
あて先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、沖縄及び北方対策担当大臣。

**可決**  
「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情及び教職員定数法改正による「30人以下学級完全実現」ための意見書  
「教育は未来への先行投資」であり、子どもたちへの最善の教育環境を提供する必要がある。そのためにも学校現場における「30人以下学級」の実現は急がれる課題になっている。教職員定数法等の早期改正により、国の責任で「30人以下学級」の完全実現を強く要望する。  
あて先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、沖縄及び北方対策担当大臣。

## 集団的自衛権行使を容認する解釈改憲の慎重審議を求める意見書。

一内閣の政治的な判断により、集団的自衛権の行使を可能にする憲法解釈の根本的な変更は断じて許されない。国の安全保障政策の大転換に関わる重大な問題について国民的な議論もなされないままに、なし崩し的に閣議決定を急ぐ安倍内閣の姿勢は、主権者である国民をないがしろにするものであり、到底容認できるものではない。よって、北谷町議会は、集団的自衛権行使容認の解釈改憲を強引に押し進める安倍内閣に対し強く抗議し、慎重なる審議を行うよう強く要請する。

あて先  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

## 辺野古新基地建設に向けた工事を強引に押し進める政府に対して強く抗議し、工事の即時中止と辺野古移設断念等を求める意見書

世論調査で示された73・6%の県民の反対の声を完全に無視したものであり、民主主義を否定する許しがたい暴挙である。よって、本町議会は民意を無視し民主主義を否定する辺野古新基地移設に向けた工事を強引に押し進める政府に対し、強く抗議し、工事の即時中止と辺野古移設断念並びに普天間飛行場の早期閉鎖・撤去を強く求める。

あて先  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長

## 頻発するF-15イーグル戦闘機の部品落下事故等に対する抗議決議

事故発生都度、事故原因の究明、整備点検・安全管理の徹底、再発防止を強く求め、安全確保が図れない状況下での飛行再開は決して容認できないと重ねて訴えてきたが、一向に改善されない現状に憤りを禁じえない。よって、北谷町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議する。

あて先  
駐日米国外使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官、嘉手納基地第18航空団司令官、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、外務省特命全権大使(沖縄担当)、沖縄防衛局長、沖縄県知事

## 監査委員の選任



長久(議会議長選任) 監査委員の任期満了に伴い、新たな監査委員を選任するため、地方自治法196条第1項の規定により、議会の同意を得る必要がある。

町内の防災の課題は



きんじょうのりあき  
金城紀昭 議員

Q 台風8号における防災エリアメールの役割は

A 本町の防災情報等を地域住民に提供し住民の安全確保を図る

**問** エリアメールでの台風関連情報伝達の評価と課題、反省点は。

**答** 防災無線が開聞こえない状況の情報伝達手段として有効。携帯電話持っていない人や、停電時テレビ視聴できない人への情報伝達手段確保が課題。

**問** 受信の程度と受信可能な人、地域増の方策は。

**答** 携帯会社から受信者の情報提供が無い為、人数の把握は不可。町内は全域エリアメール受信可能。

**問** 人数増は、携帯電話所有率による為、町方策では不可

**問** 町の第一報、最終の発信時間、内容は。発信元連絡先を知らせるべきでは

**答** 第一報7月8日午前2時46分、暴風特別警報の発令の時間、内容は。最終7月9日の午前8時30分。避難勧告解除後に再度気象庁から大雨の特別警報発令。注意喚起と町立小中学校・幼稚園の休校休園の情報発信。連絡先情報を発信したい。

**問** 7月9日8時33分のエリアメールで「学校午前中休校、午後の休校の判断は、テレビテロップで」とあったが判断は適切か、周知はできたか。

**答** 災害時、県全域の学校に効果的、早く、正確に情報発信する情報メディア活用は適切。台風8号の特別警報発令時、町内各小中学校は多くの児童生徒が登校。各学校は県の休校通知を受け、じんじんメール、電話で保護者へ連絡、帰宅指導に早急な対応実施。

**問** 同日の「土砂災害警戒対策地域」指定の土砂災害危険個所の場所、件数は。災害時の周知方法は。

**答** 町内の土砂災害危険個所上勢区1、桃原区3、栄口区1、謝野区6、北玉区3、宇地原区6、計20箇所必要に応じ、防災無線やエリアメール等で情報周知。

**問** 個別受信機の配備は。屋外無線が聴取困難の声を町は把握しているか。聴取困難場所、今回の安全確保の具体的な対応策は。

**答** 白比川沿い付近は防災無線が聴取困難。増水時の避難勧告発令に気づかない可能性高い」との声。対策はエリアメール活用情報提供、消防等の白比川周辺の巡回。増水対応で土嚢袋設置、必要で配布。

**問** 個別受信機の西海岸での設置検討の結果、配備の対象、時期、予算措置は。

**答** 平成25年度予算で防災ラジオ100台を購入。避難所に指定の公共施設等に配備。残りは貸与対象者に本年中に貸与。

**問** 県内で個別受信機の設置市町村と状況、本町の配備予定、時期、方法等は。

**答** 読谷村で、村内の公共施設等へ個別受信機を配備。本町の貸与方法、町広報紙HPで希望者募集

**町内及び白比川周辺被害状況と改修計画は**

**問** 7月9日白比川冠水。被害個所と状況は。

**答** 建物等の一部損壊6件、床上浸水3件、床下浸水6件、土砂崩れ16箇所。

**問** 台風時最大雨量と時間雨量、白比川の最高水位は

**答** 7月9日胡屋で降水量は200ミリ/日、最大71ミリ



氾濫する白比川

**中部南地区の火葬場建設**

についての質問と答弁は議会会議録、HPをご覧ください。

**問** 改修計画の概要、付近住民への説明会の有無は。

**答** 日米合同委員会承認後、平成26年10月以降、区域の文化財調査実施、翌年度、整備計画。後は、国及び米軍との調整で決定。

給食センター整備事業

**問** 平成26年度報告予定の基本設計・基本計画は食器及び炊飯設備等の維持、変更等は

**答** 現在3回の事務局協議、平成25年度作成の基本構想の検討課題協議、基本計画を進める全体スケジュール等の事務調整実施平成25年度基本構想で、町P連要望等の食器構成改善をすすめ、炊飯設備、調理設備等は、基本計画等推進で、建設費用、運用面など総合的に検討。

**問** 職員の採用や嘱託・臨時職員等の状況は。

**答** 所長兼係長1名、調理場主任1名、調理員5名、調理嘱託員6名、給食会計嘱託員1名、臨時調理員3名、臨時事務員1名、県配置の栄養士職員2名計20名。

待機児童数は、62名で、直近の10月1日時点、90名、数年、横ばい状態。つぼみっ子保育園は、10月14日に定員60名で開園、定員の弾力運用で64名の児童受け入れ。うち47名は、元の認可外保育施設から保育継続。待機児童数は17名減。

**問** 北中城村ライカム開発の児童の流入を考慮した計画はあるか。

**答** 策定中の「子ども・子育て支援事業計画」実績人口や出生数の推移で算出。ここ数年の人口増加も勘案。

**問** 県内の病後児保育事業取り組みと町で取り組む予定は

**答** 平成24年度県内の病後児保育事業実施箇所は、14カ所。本町は平成9年、やびく産婦人科・小児科に委託病後児保育事業実施。

介護等の福祉事業は

**問** 介護等福祉事業に従事者待遇、正職員への登用条件、離職率の他市町村を含めた比較事例は。

**答** 町設置の介護施設はなく、民間事業のみなので詳細な把握はない。

**答** 保育、介護等の福祉事業従事者の待遇、労働環境の改善が従事者の安定雇用やサービスの維持等に繋がると思うが、町の考えは。

**答** 国の取り組み視点に基に県介護保険事業支援計画策定後、町の取組み推進。

**問** ワークショップ等は、愛着の持てる公園づくり推進で有効、取り組み推進する。

**答** 循環バスの考えを問う

**問** 循環バスの議論、調査費の現状は。

**答** 第5次北谷町総合計画基本構想において、導入必要との提言。今年度から導入に向け検討調査実施。平成27年度は、運行実施に向け、関係機関協議、運行計画を設定する予定。平成28年度運行計画を基に許認可の申請。

**問** 運行スケジュール等を近隣市町村と連携・調整でサービス向上に繋がると思うが検討は。

**答** 現段階で検討はない。

Q 交付金活用の学校給食センター整備事業を問う

A 今年度施設整備基本計画の業務委託を行う



たかやす かつなり  
高安 克成 議員

**問** 待機児童数の推移は。つぼみっ子保育園の開園で解消されるか。

**答** 平成26年4月1日時点の

**子ども・子育て支援新制度を問う**

**問** 待機児童数の推移は。つぼみっ子保育園の開園で解消されるか。

**答** 平成26年4月1日時点の

**問** 災害時の活用、方法等は

**答** 避難所、救援物資の集積、活動拠点、温い大量の調理食提供可能な役割を担う。

**問** 町内の認定病時保育スペースリスト、潜在看護師等有資格者の人数把握は。

**答** 人数把握していない。

**問** 保育事業従事者の待遇、正職員への登用条件、離職率等の他市町村を含めた比較事例があるか。

**答** 他市町村を含めた比較事例は、現在把握はない。

公園整備計画を問う

**問** 公園の利用状況、古い公園、利用率の低い公園の再整備計画はあるか。

**答** 利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に基づき整備等利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に整備。

**問** 再整備の、単発的ワークショップなど住民参加手法で好評の行政があるが、町の取り組みは。

**問** 公園の利用状況、古い公園、利用率の低い公園の再整備計画はあるか。

**答** 利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に基づき整備等利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に整備。

**問** 再整備の、単発的ワークショップなど住民参加手法で好評の行政があるが、町の取り組みは。



たかやす かつなり  
高安 克成 議員

**子ども・子育て支援新制度を問う**

**問** 待機児童数の推移は。つぼみっ子保育園の開園で解消されるか。

**答** 平成26年4月1日時点の

**問** 災害時の活用、方法等は

**答** 避難所、救援物資の集積、活動拠点、温い大量の調理食提供可能な役割を担う。

**問** 公園の利用状況、古い公園、利用率の低い公園の再整備計画はあるか。

**答** 利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に基づき整備等利用状況は、有料施設のある公園は利用者数把握。古い公園の再整備は北谷町公園施設長寿命化計画に整備。

**問** 再整備の、単発的ワークショップなど住民参加手法で好評の行政があるが、町の取り組みは。



どうなる子ども子育て支援制度

### Q 去る7月8日、大雨の浸水、冠水、土砂くずれ等の被害状況は

A 建物等の一部損壊6件、床上浸水3件、床下浸水6件、土砂くずれ16箇所



かめ や ちくろく 亀谷 長久 議員

#### 防災を問う

問 土砂災害警戒区域の土砂災害防止策の推進に関する法律（平成12年5月8日法律第57号）の目的と、北谷町での適用方は。

答 この法律は土砂災害から国民の生命及び身体を保護するため、土地の区域を明らかにし、警戒避難体制の整備を図り、著しい土砂災害が発生するおそれがある土地の区域で一定の開発行為を制限し、建築物の構造の規制に関する所要の措置を定め、重大な土砂災害の急迫した危険がある場合避難に資する情報を提供する事等で、公共の福祉の確保に資することを目的とする。県は、北谷町内における土砂災害地域の独自調査をし、平成22年に町内の土砂災害危険箇所20カ所の内から14カ所を土砂災害警戒区域について、北谷町及び周辺住民への説明会の後に区域指定実施。土砂災害警戒区域は、通称「イエローゾーン」と呼ばれ、土砂災害が発生するおそれがある場合、危険の周知警戒避難体制の整備が行われる区域。この土砂災害警戒区域より更に著しい危険が生じ

#### ずばり！町政を問う

る可能性がある区域を土砂災害特別警戒区域、通称「レッドゾーン」となるが、特別警戒区域に指定された際は、開発行為の制限、建築構造物の構造の規制を適用。現在、県内で、土砂災害特別警戒区域指定を受けた箇所はない。

#### 学校教育を問う

問 学校2学期制町は施行10周年を機に見直し検討の、進捗状況は。

答 今年7月に検証委員会を立ち上げ、第1回目の検証委員会を実施。本委員会の趣旨方向性等を協議し、検証方法や計画等を確認。第2回目の検証委員会を11月末に予定。検証内容を分析、考察。来年2月から3月にかけて検証結果のまとめ、公開し各学校の教育活動の改善・充実につなげていく。

問 北谷中学校のテニスコートの改修は、校舎の耐震工事了完了後とあったが、進捗状況を伺う。

答 テニスコートの改修状況は、昨年11月、耐震化工事完了後に現状回復を行い、使用

を開始。その後、学校が、昨年12月に県道側のテニスコート西側の作物園の撤去と、テニスコートの一体的活用の要請があり。今年度当初予算で予算措置をしており、実施に向けての事業費調査、改修方法時期を検討中。

問 全国学校テスト小学校6年生算数Aの試験科目で、沖縄県の全国6位の成績と、その他の順位について所見を伺う。

答 算数Aは全国6位で、全国平均を2.8ポイント上回った。その他の教科は小学校国語Aが全国32位で全国平均を0.9ポイント下回り、小学校国語Bでは全国33位、全国平均を1.0ポイント下回った。小学校算数Bは、全国34位で全国平均を1.1ポイント下回っている。中学校は、すべての教科において47位の結果で、国語Aは、全国平均を5.0ポイント、国語Bは、全国平均を5.4ポイント下回った。数学Aは全国平均を9.2ポイント、数学Bは全国平均を9.5ポイント下回った。小学校は全科目とも昨年度（平成25年度）に比較し、全



町内の土砂くずれ地

### Q 桑江公民館は、体育館としての用途、利用が多く駐車場が足りないが

A 13台程度の駐車スペースがあり、駐車に関する要望や苦情等の連絡がなく、把握に至っていない状況。今後調査等を行う。



あはごん ひろし 阿波根 弘 議員

#### 桑江公民館駐車場及び調理室設置

問 調理室の設置は。

答 地区体育館として建設された経緯があり、調理室整備は、地域ニーズの把握や自治会と連携を図り、調査・研究を行う。

#### 桑江16号線と桑江17号線改修は

問 進捗状況は。

答 桑江16号線は、キャンパス桑江南側の返還後に整備。桑江17号線は、権利者と協議し、次年度以降から工事着手等を考えている。

問 認定された期日、終了した設置工事と費用は。

答 桑江16号線は、平成10年11月24日。盛土工事等で、約1千400万円。桑江17号線は、平成18年3月22日。橋梁工事、盛土工事、遮音壁設置工事等で、約2億2千600万円。

問 仮設道路利用開始期日は。

答 平成18年7月10日。

#### 社会教育団体（青年会と女性連合会）の現状は

問 各自治会の会員数は。

答 青年連合会は、上勢区14

名、栄口区52名、謝苅区50名、北玉区30名、砂辺区17名。青年連合会としては163名。女性連合会は、現在活動休止中。地域の婦人会として上勢区婦人会80名、桃原区ひまわりの会40名、砂辺区婦人会44名、美浜区自治会女性部7名。

問 活動状況と予算額は。

答 青年連合会は様々な活動を行い、地域貢献に積極的に取り組んでいる。町から、団体運営補助金24万1千円、青年リーダー宿泊研修会補助金17万5千円、青年婦人国内研修補助金10万円。女性連合会は、現在活動休止中のため計上なし。

問 エイサーフェスティバルの参加チームと参加人数は。

答 平成26年度、栄口区青年会、地謡8名、大太鼓8名、締め太鼓24名、手踊り12名の計52名。謝苅区青年会、地謡4名、大太鼓6名、締め太鼓30名、手踊り14名の計50名。北玉区青年会、地謡4名、大太鼓4名、締め太鼓12名、手踊り10名の計30名。砂辺区青年会、地謡4名、大太鼓3名、締め太鼓6名、手踊り4名の計17名で、総勢153名。

問 支援体制とエイサーフェスティバルの収支状況。

答 運営費として、31万7千円の補助金を交付し、役場駐車場をエイサー練習場として提供。平成25年度の主な収入が町補助金31万7千円、出店・広告収入81万円。主な支出は、ポスター・冊子作成費35万5千円、ステージ・照明・音響等の会場設営費45万円、出演料支払い16万円。収入総額113万4千178円。支出総額112万5千168円。差引残額9千10円。

問 近隣市町村との比較は。

答 今年度のエイサーフェス

ティバルは、約1千人の来場者があり、本町青年会4団体に近隣市町村から2団体が参加。中頭地区、旧市町村の「青年祭り」は、エイサーと地域の獅子舞やダンス等を組み合わせた趣向を取り入れ、主催団体は、実行委員会形式や市町村の祭りとの合同開催など、各市町村とも工夫をこらし開催。祭りに対する補助金を交付している市町村は、本町以外で1市町村。教育委員会は、青年会活動の取り組みに、今後とも支援を図る。



エイサーフェスティバルin北谷

### Q 塩麴を生かした特産品作りの相談を受け、問い合わせ中との事だったが、結果は。

A 平成25年度に一括交付金を活用して、予算を計上したが、実現には至らず。支援等の打開策に向けて早急に対応したい。



なかえ ま え み こ  
仲栄真 恵美子 議員

#### 福祉行政を問う

問 町営住宅建替工事の進捗状況と入居募集時期とその内容に変更はないか伺う。

答 町営砂辺住宅建替工事(C棟)は、平成26年8月1日に建築工事の入札、8月26日に本契約成立。電気設備工事及び機械設備工事は、平成26年10月1日に入札、10月7日に契約締結。C棟の新規入居者募集時期は、平成27年6月に町営栄口住宅、砂辺住宅の空家待ち募集、抽選に合わせ、実施予定。入居予定時期は、平成27年度末を予定。

問 優遇申込み世帯の優先枠はどのよう検討されたか。母子世帯への優遇枠についてはどうか。

答 優遇世帯として、障がい者世帯、母子父子世帯、DV被害者世帯、生活保護世帯、老人世帯、引揚者世帯及びハルセン病療養者世帯となっている。建築工事中の町営砂辺住宅C棟は優先枠として合計21戸のうち10戸、残り11戸は優遇世帯を含め抽選。

他の優遇世帯を含めての検討は行っていますが、母子世帯のみでの優遇措置は行っていない。

#### ずばり！町政を問う

問 現在の母子世帯、また父子世帯の数、公営住宅へ入居している数の把握は。

答 母子世帯数552世帯、父子世帯数47世帯の合計599世帯。町営住宅131戸へ入居している優遇世帯数は、60世帯で全体の約45%、うち母子父子世帯は19世帯で全体の約15%。町内にある県営住宅722戸へ入居している優遇世帯数は、289世帯で全体の約40%、うち母子父子世帯は95世帯で全体の約13%。

#### 北谷町の産業を問う

問 産業種別の割合と就業人数を伺う。

答 平成22年度国勢調査に基づく本町の産業就業者総数は、1万716人。第一次産業75人(0.8%)、第二次産業1千515人(15.6%)、第三次産業8千106人(83.6%)。

問 特産品開発の計画は。

答 広く募集を行い、地元企業のアイディア等を活かした特産品開発に向けて取り組んでいきたい。ちやたんグルメ

#### 教育行政を問う

問 町内三小学校ともオープン教室が導入されているが、現場の職員、児童、保護者からの評価、またアンケートなどの実施は。

答 北谷小学校は平成11年度、北玉小学校は平成14年度、浜川小学校は平成23年度、オープン教室の導入から15年が経過。「学習やグループ学習など、広い空間を有効活用した教育活動が行われてきた。」「多様な学習形態に対応。」「多種多様な教材等を置ける。」「授業



オープン教室のメリット・デメリットは

すい。」との一方、視覚、音響の面から授業に集中しづらいという事が課題。アンケートなどの実施なし。

問 昨年は、北谷中学校が荒れ、今年度は桑江中学校で器物破損行為が多発しているとの声がありますが現状は。

答 今年度は、9月末まで器物破損の報告なし。桑江中学校では「輝き支援プラン」を立案し、保護者やPTA、学校評議員等を中心として子供たちを見守る輝き応援隊を組織。スクールサポーターを活用して体験活動や教育相談を通しての立ち直り支援等を行っている。

### Q 土砂災害警戒区域について本町の指定率、指定地域、箇所は

A 町内の土砂災害危険箇所数20か所のうち土砂災害警戒区域は14か所。指定率70%。指定地域は、字吉原地域と字玉上地域に集中。



め どり ま は じ め  
目取真 肇 議員

#### 一括交付金

問 平成24年度、平成25年度の繰越が大きい理由は。

答 交付決定を受けたが県との協議及び国との協議に時間を要した事が繰越要因。海業振興事業におけるフィッシュャリーナ地区の護岸緑地・中央広場整備工事となっており、関係事業者との協議に不測の日数を要したため繰越。

問 平成26年度予算の活用事業について伺う。

答 観光振興事業、3億8千758万4千円、人材育成事業、4千108万円、跡地利用推進事業、1千260万4千円、北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業、2億5千300万円、墓地整備基本計画策定事業、971万8千円。

#### 土砂災害

問 白比川上流付近の地滑り箇所への対応を伺う。

答 崩壊した土砂等が堆積し水の流れを阻害している。緊急措置を講じるまでには至っていないが、今後の異常気象に対応できる余裕はないこ

#### 家庭の教育力を伺う

問 2014年度全国学力テストの本町の結果は。

答 併し、議会会議録、HPをご参照下さい。

問 朝食摂取率を伺う。

答 小学校は「毎日食べる」1,697人(87%)、昨年度86.2%、「食べる時が多い」185人(9.5%)、昨年度9.3%。中学校は「毎日食べる」765人(79.9%)、昨年度76.7%、「食べる時が多い」122人(12.7%)、昨年度9.3%。

問 「家庭の教育力」という観点で見解と対策を伺う。

答 社会情勢の変化に伴い、人間関係や地域社会における地縁関係が薄れ、地域社会や

家庭における「教育力」の低下が指摘、懸念されている。さらには、子どもたちの学習意欲や基本的生活習慣が身につけていない、体験活動の不足、コミュニケーション能力の低下など、課題が山積している。このような現状から家庭の教育力が果たす役割を重要と捉えて基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ご飯)の確立に向けて取り組んでいる。また、講演会を開催し、生活習慣づくりを考える機会を設定し、家族で取り組む事の大切さの意識化を図っている。

問 スポーツ少年団に対する現状の改善に向けての見解と今後の対応は。

答 教養第10、512号、沖縄県公立小中学校における校務の改善については、スポーツ少年団の活動に関する項目があり、実態把握のため、平成26年3月に指導者に対して活動時間等に関するアンケート調査を行った。結果、帰宅時間の遅い児童の就寝時間が遅い事や学習時間が短い事が分かった。アンケート結果をもとにスポーツ少年団指導者や学校長と意見交換を重ね、スポーツ少年団活動のあ



スポーツ少年団スポレク大会

### Q 子ども、子育て支援新制度の町民への周知は



なかち やすお 議員 仲地 泰夫

A 町のホームページに概要と取り組みについて掲載しており、今後、町民向けのパンフレット等を作成し、就学前児童がいる家庭に配布する

#### 子ども・子育て支援新制度と待機児童解消を

問 ニーズ調査の内容と公開は。

答 ニーズ調査については、国から示されたモデル調査票を参考に作成。

内容は、世帯状況、父母の就業状況、就労希望、教育・保育サービスの利用時間・種類、今後の利用希望等となっている。

ニーズ調査の結果はホームページに掲載。

問 「子育て会議は公開しているか。保護者の参加、町民の意見は反映されるか。

答 子ども・子育て会議は、公開してない。

会議の委員は20名で、町立保育所、認可保育園、町立幼稚園、放課後児童クラブの保護者代表と、在宅の保護者の計5名が参加。

問 今後の待機児童対策は。

答 「子ども・子育て支援事業計画」で平成31年度までの保育料の見込みと確保方策を検討。

3歳以上の保育ニーズについては、保育サービスの供給量が確保可能。

#### ずばり！町政を問う

0、1、2歳については、定員を大きく上回るニーズがあり早急に受け皿の整備を行う必要がある。

3歳未満の児童を対象とした地域型保育事業を推進し、待機児童解消を目指す。

問 今後の保育士の人材の確保は。

答 県の待機児童解消支援交付金を活用し、認可外保育園に勤務する保育従事者に対し、通信講座受講料等の補助を行い、保育士資格の取得の支援を行うほか、沖縄県保育士・保育所総合支援センターと連携し、保育士確保に努める。

問 一時預かり保育の現状と課題は。

答 一時預かり保育は、町立保育所2か所、認可保育園1か所の計3か所で実施しており、平成25年度の延べ利用児童数は、1千753人となっている。

一時預かり事業は、希望に添った利用ができないことが課題で実施箇所数の増加に取り組む。

#### コミュニティバスの導入

問 進捗状況、今後の計画

の見込み推移は。  
答 平成26年10月1日時点では、90名。  
0・1・2歳については、早急に受け皿の整備を行う必要がある。  
3歳未満の児童を対象とした地域型保育事業を推進し、待機児童解消を目指す。  
問 利用料の負担や、入所手続きの利便性の変化は。  
答 国の示した基準額を上限として保育料を設定する。  
本町の利用者負担額は、同等の動向を踏まえ、平成27年3月に決定する。  
主な変更点は、認定こども園、幼稚園、保育所を通じた「施設型給付」及び「地域型保育給付」が創設され、多様な施設や事業から利用者が選択できる仕組みとなる。  
入所手続について、保護者に新たな負担は生じない。  
問 学童保育の位置づけは。  
答 放課後児童健全育成事業は「地域子ども・子育て支援事業」に位置づけ。  
町村は放課後児童健全育成事業を行うものに対して、基準を維持するための指導・監督を行う。  
問 浜川幼稚園の運営は。  
答 平成27年度から4歳児く

補助金の活用は。

答 今年度は、アンケート調査による現状把握やニーズ調査を行い、バス運行の前提条件の整理と方向性を設定する。

平成27年度は、関係機関協議を行い、運行ルートの設定、バス車両の規模、運行頻度などの運行計画を設定する。

平成28年度は、許認可の申請を行い許可後に運行を開始する。

今年度は一括交付金を活用しており次年度も一括交付金の活用を想定しているが、他の補助金の活用も検討する。

問 町民アンケートの方法と結果は。

答 町民の意向を反映させるため全戸配布している。集計がこれからのので結果は出ていない。

#### 火葬場建設について

問 進捗状況、今後のスケジュールは。

答 候補地である中城村安里地区の住民に説明会をスタートした。

引き続き地域対応を行い平成26年度内に補助制度の



近隣町村のコミュニティバス

研究、詳細検討調査を終え、事業費や運営費の精査を行う。

平成27年度以降は、地域住民の合意形成、火葬場建設地の決定、管理運営体制、各町村の費用負担の合意、次年度以降、基本設計、用地購入、都市計画決定等の関係機関手続き、実施設計造成工事、建築及び火葬炉設置工事を予定。

### Q 子ども・子育て会議の役割を問う



たまな はひでこ 議員 玉那覇 淑子

A 子ども・子育て支援事業の策定、子ども・子育て当事者や子育てを支援している 方々の意見反映のため設置している。

#### 子ども・子育て新制度を問う

問 認定こども園の取り組み

答 認可保育所の1か所は認定こども園への移行の要望があり平成27年度に移行できるよう調整中。

認可外保育施設が、認定こども園の創設要望があり、補正予算で整備費の補助金を計上、平成28年度の開園に向け準備中。

問 子ども・子育て会議は。

答 「子ども・子育て支援事業計画」の策定、子ども・子育て支援施策の推進のため、子育て当事者や子育て支援をしている方々の意見反映ため設置。

問 公立幼稚園、保育所の運営、認可保育園はどのように変わるか、既に認定保育園へ移行、あるいは希望している保育園はあるか。

答 公立幼稚園、保育所は、これまでどおり幼稚園、保育所として運営する。

認可保育園の1か所、認定こども園へ移行要望があり、他の施設は、これまでどおり保育所として運営。  
問 現在の待機児童数、保育

#### 第二小学校正門前歩車分離式信号機の設置は

問 設置は可能か進捗状況

は。  
答 本年7月10日付けで、沖縄警察署長に設置要請をした。沖縄警察署、公安委員会が歩車分離式信号機を必要と判断した場合は設置される。

#### 空洞化調査を問う

問 下水管の長寿命化計画に基づく工事の進捗状況は。

答 「北谷町下水道長寿命化計画」を策定し改築工事に着手しており老朽化に起因する陥没の発生はない。

問 町内の路面下の空洞化調査の所見を。

答 空洞化による道路の陥没は重大事故をひき起こす事象として認識。空洞化調査を行い、未然防止に努める。

#### 「建白書」実現の取り組みを問う

問 「建白書」取り組みの実現と思いは。  
答 オスブレイレイ配備撤回や普



危険な第二小前の交差点

#### 仮設道路17号線の開閉を問う

問 仮設道路17号線の門開閉時間の見直しは。

答 次年度以降に当該道路の本整備工事着手が想定されるため通行時間の延長は考えていない。

どを盛り込んだ建白書を、安倍内閣総理大臣に提出した。オール沖縄での取り組みは、大きな意義があった。安倍内閣の新基地建設に対する対応に、強い憤りを感じている。知事が地元名護市の意見に配慮せず大多数の県民の意思に反し、埋立を承認したことは、大変で遺憾である。県外・国外への移設を引き続き求める。

### Q 中学卒業までの医療費助成と今後の取り組みを問う



おおはま 大浜 ヤス子 議員

A 通院費にかかる医療費助成の中学校卒業までの拡大については、平成27年度、実施に向け財源確保に努める

#### 子育て支援を問う

問 医療費助成の対象者は、所得に関係なく一律に助成されるか。

答 こども医療費助成は、所得制限を設けず一律に助成している。対象年齢を中学校卒業まで引き上げても所得に関係なく助成。

問 対象者は何名で、どの程度の金額が想定されるか。

答 対象者は3千284名で、通院分も中学校卒業まで助成対象を拡充した場合は、年間およそ2千900万円の追加財源が必要と試算。

問 待機児童数及び待機児童対策の取り組みは。

答 平成26年10月1日時点では、90名。

「子ども・子育て支援事業計画」において、平成31年度までの見込みと確保方策を検討。3歳以上については、保育サービスが確保可能な状況0・1・2歳については、現在の定員を大きく上回るニーズがあり、早急に受け皿の整備を行う必要がある。

そのため、3歳未満の児童を対象とした地域型保育事業を推進し、待機児童解消を目指す。

#### ずばり！町政を問う

問 夜間保育・休日保育の現状と今後の取り組みは。

答 夜間保育については、つぼみっこ保育園の開園当初は22時までの延長保育を実施。22時以降の延長又は夜間保育は、つぼみっこ保育園の開園後の利用実態等を検証し検討。

休日保育については、実施に至っていない。保育士の確保が困難で休日保育の実施は厳しい。

#### 防災拠点整備事業を問う

問 学校給食センター・二ライ消防等の進捗状況は。

答 防災拠点整備事業は、北谷消防署及び学校給食センター施設を集積し、防災活動を一層効果的に発揮できる環境を整備する事業であり、昨年度ポリテクセンター沖繩の運動場敷地約2ヘクタールを取得。

今年度、道路概略設計を進め、当該道路計画に基づき各施設の配置を確定した後、二ライ消防による北谷消防署整備計画を進め、道路築造完成後に北谷消防署整備工事の着手となる。学校給食センターについて

#### 道路行政を問う

問 宇久殿中央線(※)の改修工事は。

答 今年度も5月と6月に異なった場所で陥没をおき、空洞化による陥没調査を実施。表面的な改修はもとより、道路全体の空洞化対策も併せて検討し、次年度以降改良していきたい。

問 宮城1号線の改修の進捗状況は。

答 平成25年度に実施計画を完了させ、現在の成果を基に平成27年度から整備工事に向け国土交通省道路局所管の社会資本整備交付金を充当する計画で事業を進めている。

問 桑江郵便局前交差点の信号機は。

答 栄口区行政懇談会で、右折信号の要望に対し、沖縄警察署と調整を踏まえ道路交通法上、右折帯がない場合は設置できず、時差式信号機への変更も時間帯でない場合は設置できず、時差式信号機への変更も時間帯により交通量が異なるために設置できない旨を回答した。また、右折帯については道路幅員等の関係上、設置が出来ない状況。



とぐち まさし 渡久地 政志 議員

### Q 宇久殿中央線の改修工事は

A 次年度以降改良していきたい

#### 北谷町ホームページを問う

問 ホームページの内容見直しは。

答 ホームページの内容は、各種の行政情報の発信が主体、利用者のニーズを踏まえたイベント情報など各種情報の提供など、内容充実のため、庁舎内関係課と協議を実施。いくつかの業者の提案も参考にし、早い時期に見直しが出るよう引き続き調査・研究を実施。

問 多言語等を含め、観光客への情報周知へ充実を図る考えは。

答 本町のリーディング産業である観光・リゾート産業を意識した北谷町らしいホームページの再構築に向けた調査・研究を実施中、観光情報の発信などを目的に北谷町観光情報センターが設置も念頭におき、ホームページの充実を図れるよう進めていく。

#### 北谷町の法制担当強化

問 法制担当強化は町長の所見を伺う。

答 法制執務に関する知識や能力を養うために研修事業の実施、派遣等を行い、職員の法制執務能力の向上をはじめとする人材育成に努めている。

では、今年度は基本計画に関する調査に着手する。

問 学校給食センターの改善と併せて食器類の改善は。

答 平成25年度の学校給食センター施設整備基本構想において、要望等も踏まえ検討を行い、トレー、ご飯椀、スプーン、おかず皿の4点セットへの改善を進める。

問 ニライ消防の跡地に、総合体育館建設を要望したか。

答 総合体育館建設については、広い面積の町有地確保が大前提、北谷消防署跡地(約2千平方メートル)での総合体育館の建設は厳しい。総合体育館建設は、返還が予定されている駐留軍用地跡地も視野に検討を行う。

#### 認知症対策を問う

問 本町の認知症対策の現状と課題は。

答 認知症対策として、情報発信の強化、適正な受診の促進、認知症サポーター養成、推進の取り組みを進めている。課題として、認知症予防知識の普及のため地域保健担当

#### 北谷安良波公園の活用は

問 安良波公園南側のステージ活用は。

答 安良波公園南側ステージの活用は、イベントでの利用で「OKINAWA IDOL FESTIVAL」(ゴスペル・ミニコンサート)「ヨランダ・ハワイアン沖繩リリーフファインドグループ ウォーキングチャリティーイベント」の3件。



安良波公園屋外ステージの活用は



宇久殿中央線の改修は

(※ 栄口区中通り)

問 これまでの年間行事は。

答 これまでの年間行事今年度に関しては、9月末現在で「ミュージックビデオ撮影」「焼肉金城の沖繩県産牛試食イベント」の2件の利用。



子ども医療費助成は？

#### 中部南地区広域火葬場の建設を問う

答 弁については議会会議録、HPをご参照下さい。

部署との連携が必要。認知症サポーター養成講座受講者を地域で活用する仕組みが必要。

問 相談窓口は設置されているか。

答 地域包括支援センターを設置して認知症に係る相談へも対応している。

### Q 水道料金の引き下げを問う



なかむら しげかず  
中村 重一 議員

A 平成26年6月大口需要家に対する累進度を強めた使用料体系に改定したばかり

**水道料金の改定は**  
問 町の水道料金は、基本料金が1千188円、那覇市620円、沖縄市900円、宜野湾市990円より高いが、基本料金の見直し、水道料金の引き下げの考えは無いのか。  
答 使用料改定は、3年間の収支バランスを考慮し、使用料体系及び単価を決定し使用料単価の改定の必要性を検討したい。

#### 子どもたちの貧困問題

問 町の子どもの状況把握は就学援助や、学習支援はどう考えるか。  
答 小学校2年生から中学校3年生の全保護者に対し準要保護申請に関わる周知を行い、各学校で集約を実施、教育委員会に申請手続きを求め、学級担任を中心として子どもたちの生活状況等を日常の学校生活や家庭訪問、三者面談、相談活動等を通して見立てを行い、対象児童生徒の保護者に就学援助申請を勤めている。

問 北谷町における子供達の実態は。  
答 遅れの見られる子供達には、個別に放課後の補習

### ずばり！町政を問う

指導、夏休みを活用しサマースクール等を実施。

#### バリアフリーのまちづくり

問 障害者向けの屋根付き駐車場の取組みは。  
答 「沖縄県福祉のまちづくり条例」で駐車施設から出入り口までの通路に屋根又は庇を設置こととなっているが、目標基準であるため、町の公共施設は、北谷二ライセンター及び水道庁舎の2施設。他公共施設は、ほとんど整備がない。今後、整備する施設は屋根付き駐車場を設置していきたい。大型店舗等には、車椅子利用者駐車場が設置。屋根付き駐車場は、立体駐車場が整備されている2施設と把握。

#### 国民健康保険税を問う

問 2008年度以降、国民健康保険への交付金算定が不利益報道の実態は。  
答 沖縄県、県市長会、県町村会、県市議会議長会、県町村議会議長会、県国民健康保険団体連合会の6団体で、前期高齢者交付金財政調整制度の見直しを求め、平成26年8月26日に「沖縄

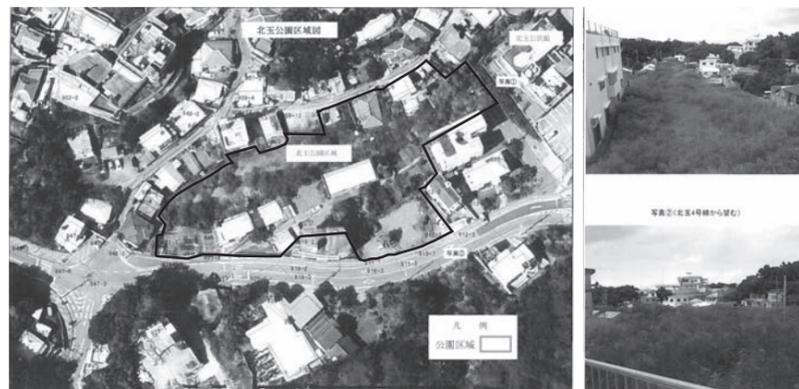
県の市町村国保に対する財政支援について」国への要請を実施、今後の動向に注視しながら引き続き連携して取り組んでいきたい。

#### 北玉区公園整備は

問 北玉公園の全体的な概要の説明を伺う。

答 公園の場所は北玉公民館西側、敷地面積0.44ヘクタール、整備内容は、

- ①多目的広場
- ②園路
- ③駐車場
- ④東屋
- ⑤便所
- ⑥水飲み場
- ⑦ベンチ
- ⑧室内板
- ⑨照明灯
- ⑩投光器
- ⑪時計塔
- ⑫植栽等を予定



北玉公園予定地

### Q 桑江郵便局交差点の右折の信号機設置は



みやざと ひろし  
宮里 廣 議員

A 道路幅員等の関係上設けることが出来ない

#### 桑江郵便局交差点の右折の信号機設置は

問 渋滞解消の具体的対策・根本的解消は。  
答 当該交差点について、右折信号や時差式信号機の設置を沖縄警察署と調整したが、道路交通法上右折帯がない場合は、右折信号の設置はしていない。時差式信号機については、時間帯によって交通量が異なること、県内で他に設置している時差式信号機も事故等が懸念されるため、設置は出来ない。右折帯を確保することについては、道路幅員等の関係上、設けることが出来ない道路の構造となっている。

#### 桑江郵便局交差点後方道の安全整備は

問 横断歩道の設置、カーブミラー、ストップ標識及び停止線設置は。  
答 北谷進学スクール付近への横断歩道の設置について、交通量、歩行者数を把握するため調査を実施し、沖縄警察署に要請を行いたい。桑江郵便局裏交差点から桃園公園向けの3交差点について、交通安全対策としてカーブミラー

を設置しているが、標識等の交通規制については公安委員会の権限となり設置される可能性が低い。

#### 道の駅建設は

問 北谷町は国道58号線沿いで、南部と北部の通過点にあり、毎日那覇のホテルから観光客を乗せた観光バスが通っている為、休憩場所にも最適である。町の発展と活性化につながる、北谷町の新しい顔として多彩な物産と観光情報をアピールできる道の駅の建設の考えはないか。  
答 本町においても、平成22年度の沖縄県緊急雇用創出事業に係る委託事業として、北谷町商工会を委託先に「道の駅整備における地域ニーズ調査事業」を実施した。提出された事業報告書によると、8割を超える方々が道の駅は必要であるとの回答結果が得られる一方で、提供できる町の特産物が少なく、単独としての施設運営は困難であるとの結果がまとめられており、従来型の県内各所に存在する単独の「道の駅」では整備費用や維持管理費用を十分に補えることが困難であると報告されている。

町の所見といたしまして、事業主体の選定及び資金の確保、事業の採算性や地域特産品の継続的な供給など、検討課題も多く、単独施設としての道の駅建設は困難であると



のぞまれる道の駅



道の駅かてな

### Q 見嘉作奈留川線と桑江中央線の交差点に信号機設置は



みやざと あゆみ 議員 宮里 歩

A 信号機設置を要請するために、交通量、走行者数等の調査を実施

#### 道路行政を問う

問 見嘉作奈留川線(※)と桑江中央線の交差点、信号機設置の進捗状況は。

答 信号機設置を要請するために、本年7月24日に交通量・歩行者数等の調査を実施した。

交通安全対策の観点から、一時停止線の設置、路面へ「止まれ」の文字を標示、路面のカラー舗装、優先道路への中央線の標示、「前方優先道路」表示の看板設置等の必要な対策を講じた。

8月11日付けで、沖繩警察署長に信号機の設置の要請をした。

年末までに、沖繩警察署から設置の可否について回答を受ける予定。

沖繩警察署、公安委員会が信号機を必要と判断した場合は設置される。

#### 福祉行政を問う

問 生活保護申請者との連絡手段で福祉電話利用の考え、申請時の対応は。

答 生活保護法において、保護の実施機関は福祉事務所と規定とされており、申請者との連絡を行う機関は、保護の実施者である中部福祉保健所となる。

### ずばり！町政を問う

福祉保健所となる。

町は北谷町福祉電話設置要綱を制定しており、生活保護申請者で条件に該当する場合は、福祉電話設置の対象となる。

保護申請の対応、手続きは、中部福祉保健所又は町役場となっており、本町役場へ相談に来た場合、支援が必要かなど制度の説明をし、申請手続きを行っていただく。申請書を受理してから中部福祉保健所に送付している。

問 「国民健康保険税、介護保険料の減免を望むが。

答 国民健康保険会計は、独立採算による財政運営が望ましいとされている。本町の国民健康保険特別会計は、一般会計から赤字補填を行い、被保険者への負担が大きくならないようにしている。

保険料の軽減、減免制度について、周知を図りながら窓口相談等、被保険者の支援を引き続き行う。

介護保険料の減免については、介護保険法の規定に基づき被保険者の特別な理由がある者に対し減免できる。本町は、沖繩県介護保険広

域連合に参画しており減免制度については沖繩県介護保険広域連合の介護保険条例に基づき実施している。

問 保護者への周知・説明は。

答 町のホームページに、「子ども・子育て支援新制度」についての概要と町の取り組みについて、掲載している。今後、町民向けのパンフレット等を作成し、就学前児童がいる家庭に配布する。

問 保護者の希望を尊重した保育の利用は。

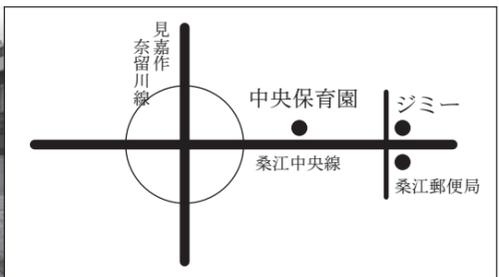
答 新制度では、保育の必要性の認定を行った上で、保護者の利用希望に基づき、市町村が利用の調整を行う。

問 希望どおりの施設に入れない場合は。

答 第1希望から第3希望までの施設を記入してもら

い、第1希望の施設に入所できない場合は、第2希望、第3希望と、順次入所希望の利用調整を行う。

(※) 桑江体育館前  
ホウオウ木通り



17号線と見嘉作奈留川線

### Q コミュニティーバスの導入スケジュールは



ともり つとむ 議員 友利 勉

A 今年度は、ニーズ調査と方向性の設定

#### コミュニティバス導入を問う

問 導入スケジュールは。

答 今年度は、町民や公共交通事業者、医療機関等へのアンケート調査による現状把握やニーズ調査を行い、バス運行の前提条件の整理と方向性を設定。

平成27年度は、運行実施に向け、関係機関協議を行い、運行ルートの設定、バス車両の規模、運行頻度などの運行計画を設定。

#### 西海岸遊歩道整備計画を問う

問 ウォーキングロード整備は。

答 西海岸遊歩道整備計画は、北谷町都市計画マスタープランの道路・交通網の整備・方針に沿って砂辺馬場公園から安良波公園まで北谷町西海岸沿いを繋ぐ遊歩道として、約6千880メートルを整備する構想となっております。平成27年度から改良工事

#### フィッシャリーナ地区整備を問う

問 ヒルトン沖繩北谷リゾートの従業員は、何名で町内出身者、町内在住者は何名か。

併せて「うみんちゅワフ」の従業員数は。

答 ヒルトン沖繩北谷の直接雇用は190名で、町内在住者は全体の約15%から20% (28名から38名)程度とのこと。

清掃員等、関連企業の雇用は、現在170名の従業員を採用し、その内31名が町民とのこと。「うみんちゅワフ」は、指定管理者を含めた入居事業者の総従業員数で21名とのこと。

問 マリーナ駐車場、駐艇場の収容台数は。

また、どのような利用者を想定しているか。

答 乗用車が54台、駐艇場については30フィート級の船舶が20隻収容可能。この施設の主な利用者はマリーナやうみんちゅワフの利用者を想定している。

問 平成23年度、実施の事業者募集説明会の参加企業数、申込み企業数は。

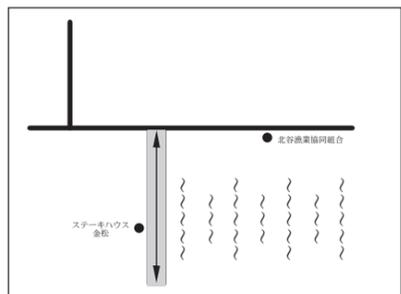
答 参加企業は80社あり、その内、登録事業者数は13社。実際に応募した企業は11社。業種業態に飲食、物販、宿泊施設、通信教育等です。企業誘致活動については、平成30年度までに、E街区、C2街区、F街区全ての土地を処分予定。

問 駐車場整備・県営美浜高層住宅&美浜ハイツ居住者との駐車場契約は。

答 フィッシャリーナ地区の駐車場整備については、各事業者の計画に基づき、必要台数を把握した上で整備する予定であり、駐車場の設計にあたっては、隣接する美浜区自治会とも意見交換し、可能な限り計画に反映できるように進めたい。



ウォーキングロード整備が待たれる港1号線



フィッシャリーナ地区は、公有水面埋立法に基づき、それぞれの土地利用に関し必要面積を算定した上で免許を取得し埋立てている。フィッシャリーナ地区の駐車場は、当該地区を訪れた利用者の利便施設として考えており、地域居住者との契約駐車場として占有させることは困難であると考えている。

# 北谷町議会 第十代 議会構成

議長 田場 健儀

副議長 中村 重一

## 総務財政常任委員会

委員長 大浜 ヤス子  
副委員長 友利 勉  
委員 宮里 廣  
" 喜友名 朝哲  
" 渡久地 政志  
" 亀谷 長久

## 経済工務常任委員会

委員長 照屋 正治  
副委員長 目取眞 肇  
委員 與儀 誠  
" 阿波根 弘  
" 金城 紀昭  
" 中村 重一

## 文教厚生常任委員会

委員長 玉那覇 淑子  
副委員長 仲栄真恵美子  
委員 高安 克成  
" 喜友名 盛充  
" 宮里 歩  
" 仲地 泰夫

## 議会運営委員会

委員長 金城 紀昭  
副委員長 宮里 歩  
委員 照屋 正治  
" 大浜 ヤス子  
" 玉那覇 淑子  
" 仲地 泰夫

## 基地対策特別委員会

委員長 高安 克成  
副委員長 照屋 正治  
委員 宮里 廣  
" 友利 勉  
" 喜友名 盛充  
" 大浜 ヤス子  
" 仲栄真恵美子  
" 玉那覇 淑子  
" 宮里 歩

## 議会広報調査特別委員会

委員長 仲栄真恵美子  
副委員長 喜友名 盛充  
委員 宮里 廣  
" 高安 克成  
" 友利 勉  
" 喜友名 朝哲

## 中部広域市町村圏事務組合議会議員

田場 健儀

## 監査委員

仲栄真恵美子

## 監査委員

亀谷 長久

## 比謝川行政事務組合議会議員

友利 勉  
渡久地 政志  
田場 健儀

## 沖縄県市町村総合事務組合議会議員

田場 健儀

## 倉浜衛生施設組合議会議員

仲地 泰夫  
宮里 廣

## 育英会理事

宮里 廣 成  
高安 利友 朝 哲  
友喜 友名 盛 充



写真左から三列:高安 克成(たかやす かつなり)、阿波根 弘(あはごん ひろし)、喜友名 盛充(きゆうな もりみつ)  
渡久地政志(とくち まさし)、宮里 廣(みやざと ひろし)、照屋 正治(てるや まさはる)  
二列:喜友名 朝哲(きゆうな ちようけい)、目取眞 肇(めどるま はじめ)、與儀 誠(よぎ まこと)  
仲地 泰夫(なかし やすお)、友利 勉(ともり つとむ)、金城 紀昭(きんじょう のりあき)  
亀谷長久(かめや ちようきゆう)、  
一列:仲栄真 恵美子(なかえま えみこ)、大浜 ヤス子(おおはま やすこ)、田場 健儀(たば けんぎ)  
中村 重一(なかむら しげかず)、玉那覇 淑子(たまなは ひでこ)、宮里 歩(みやざと あゆみ)

## Q 名護市辺野古新基地建設に対する考えは

A 県外・国外へ普天間飛行場の移設を引き続き求める。



てるや まさはる  
照屋 正治 議員

### 基地問題を問う

問 名護市辺野古への新基地建設への町長の所見は。

答 日米両政府が進める名護市辺野古をはじめとする県内移設並びに嘉手納飛行場への統合案に対しては断固反対し、県外・国外へ普天間飛行場の移設を引き続き求める。

問 米軍人・軍属と思われる世帯の犬の登録件数と狂犬病の予防接種の状況は

答 外国人が飼い主と思われる犬の登録数は194頭。狂犬病予防注射を受けた飼い犬の数は30頭。

### 道路行政を問う

問 桑江17号線の交通量測定の結果は。

答 平日においては、上り下り線共に3千台以上の交通量があり、日曜日の交通量も上り下り線共に2千台を上回る交通量が計測された。

問 桑江17号線の時間延長について、再度前向きに検討できないか。

答 道路構造上の改善を行わなければ、通行時間帯の

## ずばり！町政を問う

改善は厳しい。本整備工事を近々に着手する計画の現時点では、時間の延長については考えていない

問 旧水道課庁舎付近から国道58号までの区間を2車線通行にする考えはないか。

答 2車線通行にするためには、国道事務所から国道取付部分について道路中心線を将来計画と一致させることとされており、一致させるためには米軍提供施設内に重なることから、困難な状況にある。

問 県道23号線、街灯の増設を関係機関に要請する考えはないか。

答 今後高木の剪定、街灯の増設の要請を県に対して行っていきます。

問 浜川小学校正面前の横断歩道は校舎建替え前のまま。場所の変更は

答 新校舎改築に伴って横断歩道と、正門がずれている状況について、学校側の意見を踏まえて設計業務で検討し、位置を変えることが必要であると判断した場合、関係部署、及び関係機関と協議を進めていく。

### 公園施設の管理と修繕は

問 砂辺馬場公園のバスケットコートのラバーの張替、遊具類等の管理状況とその対策は。

答 ラバーは、他の修繕予定箇所との優先順位を判断しながら対応する。

遊具等の管理状況に関して、北谷地域振興センターが年に4回の公園遊具保守点検業務を委託している。遊具が使用不可と判断された場合は、遊具の使用禁止措置を行っている。

問 公共施設(特にプールやビーチ)での刺青(タトゥー)を入れている人への指導等は。

答 ビーチでは、注意を行っていない。水泳プールでは、口頭でラッシュガード(スポーツウェアの一種)の着用を進めている。

問 桑江総合運動場及び町内の小中学校の運動場にベンチ及び屋根を設置する考えは。

答 桑江総合運動場には、現在大型ベンチを4台設置。小学校校において、現在のところ設置する予定はない。



辺野古新基地建設反対する県民集会



バスケットコートのラバーの張替は？

中学校は、現在野球部で活用している屋敷付きベンチが有効に利用されている。

読者からの

声

# 健康福祉の町を目指して 頑張ってます。



金城 宏徳

北谷町社会福祉協議会

全国的に少子高齢化が進む中で北谷町でも高齢者世帯が3400世帯余もあり全世帯数の約3割を占めております。

それに伴い生産年齢人口も徐々に減少化が続くものと予想され、時代を先取りした施策が必要だと思います。若い世代が安心して子どもを産み育てることができると環境作りも急務であり、出産手当や児童手当の増額見直し、保育所の増設、学費や医療費の無料化、家賃補助等々議会でも討議する必要があります。一方、超高齢化社会を迎え、達者な方には働ける場の提供が必要であり高齢者に特化した就労場所の構築も喫緊の課題とします。また健康寿命を如何に維持向上させるかが大きな課題です。私が北谷町社会福祉協議会としても行政、各自治会、民生委員児童委員協議会等各関係機関と協力連携し北谷町に住んでよかったですと実感できる健康福祉の町を目指して頑張ってます。議員諸氏におかれましては議会の場からご支援下さいますようお願い申し上げます。ご健勝で益々のご活躍を祈念申し上げます。

## 平成26年12月定例議会 傍聴へ行こう!!

インターネットで町議会を知ろう!!  
議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町HP

北谷町議会

議会議事録公開

平成26年12月11日(木)開催予定

あなたも町議会を傍聴してみませんか?



詳細は北谷町ホームページで検索サイトで

HPアドレス: <http://www.chatan.jp> 【お問い合わせ】 議会事務局 ☎936-3382 FAX936-9712



第十代広報委員会の皆さん

## 編集後記

立冬が過ぎ、心地よかった風も少し肌寒く感じます。第十代北谷町議会議員は町民の皆様の付託を受け、初議会で平成25年度の決算審議、平成26年度の補正予算審議等を行い、一般質問では新人を含む15人の議員が登壇し町政を問い、提言を行い三週間近い会期を閉じました。

今期、議会だよりを編集する広報委員会は、新人議員五人十ワンの新メンバーでスタートいたします。委員長として重責を感じておりますが編集の仕事を楽しみ、さらに町民の皆様へ早く、解りやすい広報紙をお届けしたいと、委員一同はりきっております。

四年間よろしくお願いいたします。皆様のご感想・ご意見等が私たちの力になります。どうぞお気軽に皆様のお声をお寄せ下さい。

議会会議録は、議会ホームページ、各公民館では冊子でご覧になれます。詳細をご希望の方は、併せてご覧下さい

また、議会傍聴へもお気軽にお越し下さるようご案内いたします。事務局窓口のご署名でご入場が出来ます。皆様のご来場で議員の活動も一段と活発になるかと思われず。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

広報委員長 仲栄真恵美子

ご意見・ご感想はこちらへ



北谷町議会事務局

TEL: 936-3382

FAX: 936-9712